

首都プノンペンの中心部に位置して…

寄り道

首都プノンペンの中心部に位置しているのに閉鎖された給油所。自動車やモーターバイクが騒々しく行き交う中、あの日の古いガソリン価格が表示されたまま、ひっそりとたたずんでいた。

与党批判を繰り返していた著名政治評論家のケム・レイ氏が、この給油所に併設されたコンビニ内で射殺されてから約2週間が経つ。「政争に巻き込まれた」「野

党・救国党に入党する予定だった」——。地元紙では今も多くの「うわさ」が連日報じられているが、政治との関係は定かではない。容疑者は個人的な金銭問題があったと供述している。

ケム氏と面識があった知人は「葬儀に参加するつもりだ」と寂しげな表情を浮かべていた。事件から少し経って給油所は営業を再開し、ガソリン価格の表示も変わった。コンビニの前に飾られている花束だけが、当時の状況を無言で伝え続けている。(プノンペン・内)

【ミャンマー—製造】

豊橋設計、工科大で機械CAD教育受託

機械・電気電子・ソフトウェア設計の豊橋設計（愛知県豊橋市）は、ミャンマーの老舗人材会社、日系ジェイサットコンサルティング（J-SAT）とともに、工科大学マンダレー（TUM）から機械CAD技術の習得コースの運営を受託、20日に正式契約を交わした。12月1日に始まる新学期から提供する。

豊橋設計は、自動車部品の加工や組み立ての専用工作機械、半導体製造装置の設計、3次元（3D）CADを用いた学校運営で培ったノウハウと、講師役のミャンマー人エンジニアを派遣。J-SATは大学側との調整など授業全体を管理、パソコンやネット回線などハードウェアも提供する。

工科大学マンダレーは今年6月から日本語クラスを

開設するなど独自の試みに積極的で、産業界の需要が高く、就学希望者も多い機械CADクラスを全国の大学に先駆けて設置する。ミャンマー・エンジニアリング協会（MES）の理事でもあるシン・ソー学長の幅広い人脈を生かして今後、ミャンマー全国に機械CAD技術を普及させる考え。

豊橋設計は、自動車工場に導入するロボットや大型プラントの配管、造船や製鉄所などの設備設計を詳細な図面に落としこむ作業などを手掛けている。2013年にミャンマーに進出して日本の業務の一部をヤンゴンで受託。当初からミャンマー人新卒者を採用して教育しており、エンジニアの一部は日本本社でも勤務している。

【ミャンマー—運輸】

米エアオン、追跡技術提供へ航空局と合意

航空機の位置追跡サービスを手掛ける米エアオン（Aireon）は19日、ミャンマー民間航空局（DCA）との間で、ミャンマーの航空管制システムの設計と効果算定を進める内容の合意書を交わしたと発表した。エアオンの「放送型自動従属監視サービス（ADS-B）」の導入を前提に協力する。

ADS-Bは、全地球測位（GPS）技術を使って航空機の位置や航跡などを監視し管制に役立てる次世代型サービス。従来の地上管制技術に比べ、遠隔地からでも、より正確な情報を把握できる。DCAは、ヤンゴンの飛行情報区（FIR）の航空管制情報や、航空通信情報を提供する。

エアオンのクローネンベルク副社長は、「ADS-B

を導入すれば、地上局の設置に莫大な資金を投入しなくても、リアルタイムで最新の航空管制システムを利用できる。安全性に重点を置くDCAの姿勢を称賛する」と話した。DCAのソー・ペイン局長は、「ミャンマーは僻地が多く、地形の地域差が大きいので、地上局の設置が非常に困難。ADS-Bの導入で、安全性と飛行視程を高められる」と語った。

米ボーイングの長期市場見通しによると、アジアの航空旅客需要は年6.1%のペースで拡大しており、毎年1億人ずつ増加。ミャンマーのDCAも、国際水準のシステム導入で安全性を高める必要に迫られている。

ASEAN一覧

電力編



工業団地&インフラMAP



ダウンロードは
こちら